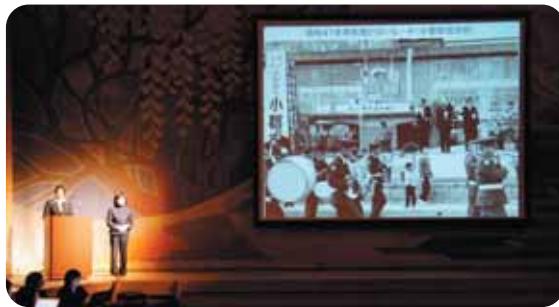


平成24年を振り返る

昨年は、市制施行40周年を迎える記念の年となりました。
広報おごおりでまとめた、平成24年の主な出来事を振り返ります。

市制施行40周年を迎えました

昭和47年4月1日に市制施行した小郡市は、市制施行40周年を迎えた。市制施行40周年を記念して、11月3日に文化会館で記念式典を行いました。



▲市制施行から40年間のあゆみを紹介



和風露天風呂 天の川



洋風露天風呂 ムーンライト

市制施行40周年記念事業として和風露天風呂「天の川」と洋風露天風呂「ムーンライト」がオープンしました。

満天の湯に露天風呂がオープン

市制施行40周年記念事業として和風露天風呂「天の川」と洋風露天風呂「ムーンライト」がオープンしました。

新年のご挨拶

小郡市長 平安 正知



新年明けましておめでとうございます。

平成25年の輝かしい新春を迎え、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

さて昨年、小郡市は市制施行40周年の記念の年でありました。3万人特例法により昭和47年に誕生した本市は、九州最大の商業都市・福岡市と筑後地方の中心都市・久留米市に挟まれた地理的条件と、福岡県の大動脈とも言える西鉄天神大牟田線が市を縦断するという交通の利便に恵まれた条件が重なり、人口の増加が著しく、都市化が進展いたしました。

また、この40年の間、農業の振興や企業誘致による商工業の振興発展はもとより、九州最大規模の小郡・筑紫野ニュータウンの開発、九州横断道の開通、甘木鉄道の運行開始、陸上競技場や野球場を有する小郡運動公園や総合保健福祉センター「あすてらす」といった施設の充実、また、近年では高層住宅が建ち並ぶなど、まちの景観も大きく変貌し、今では人口59,500人を超えて、前途洋洋々と隆々たる発展を遂げています。

現在、小郡市は、こうした古来よりの要衝の地として発展してきた歴史や豊かな文化を踏まえ、第5次小郡市総合振興計画の将来像、「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」の実現に向けて取り組んでいるところでございます。

私は小郡市長に就任して以来、3つの基本理念「経営感覚」「選択と集中」「市民と協働」のもと、さらには2期目就任からの3つのビジョン「①こども共育」「②地域活力」「③健康安心」と10の政策・52の項目を推進することにより、市民福祉の向上と小郡市勢発展のため、精一杯取り組んできました。

私の座右の銘「天命に生き、運命に挑戦し、使命に燃ゆ」とおり、これからも小郡市に住む人々が、この「ふるさと・おごおり」に自信と誇りを持ち、「住んでよかったです」「育ってよかったです」と思えるような、夢と希望に満ちたまちづくりを実現していきたいと、新年を迎えて決意を新たにしているところでございます。

どうか、今後とも、市民の皆様をはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

「ミニユーティバスの愛称が 「七夕ふれあい号」に決定

市制施行40周年記念事業として市内を走るミニユーティバスの愛称を募集した結果、「七夕ふれあい号」に決まりました。



ラックン

図書館らつこの名前が 「ラックン」に決定

図書館創立25周年を記念し、名前を募集した結果、「ラックン」に決まりました。

第5次小都市総合振興計画の将来像「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」の実現を目指し、市民との協働、効果的・効率的な行政運営、健全な財政基盤の確立を基本理念とした改革を進めます。

第2次小都市行政改革 行動計画を策定

市民との協働によるまちづくりの推進のために協働推進課を、子育て支援体制の充実・強化を図るために子育て支援課を新設しました。

小郡市食育推進計画を策定

市民一人ひとりが食の大切さを見直し、健やかな健康生活を送ることができるよう、食を取り巻く課題と世代ごとの目標を定めました。



端間駅自歩道橋の 名称が「満天橋」に決定

平成25年秋に暫定供用される端間駅東側の自歩道橋の名称が「満天橋」に決まりました。



端間駅東側の駅前広場が完成

端間駅東側の駅前広場が完成し、4月1日から利用できるようになりました。

駅前広場には送迎用の乗降場、付近の案内板などを設置しています。

「松岡家住宅母屋一棟、門一棟」 が市登録有形文化財に登録

現在、料亭「とびうめ」として利用されている松岡家住宅（千潟）は大正12年に建築され、大刀洗空襲の戦禍を経験したり、野田宇太郎が訪れたりするなど、市の歴史と文化に関する貴重な資料として7月に登録されました。



市ホームページをリニューアル

利用者の皆さんのが見たいページにたどりつけるように工夫したほか、市民の皆さんから風景やイベント・身近な出来事などを撮影した写真を募集し、掲載する「撮ってみんしゃい！おごおり」のコーナーをつくりました。